

日頃の感謝を込めて野球少年が奉仕作業

12月25日、小林太陽クラブと南小野球スポーツ少年団が緑ヶ丘野球場で清掃活動を行いました。約100人が参加し、日頃使用する球場に感謝を込めて落ち葉を集め、きれいにしていました。



火災予防を啓発 消防団が夜警を開始

12月25日、消防団の夜警出発式が市役所玄関前で行われました。これは、火災が発生しやすい時期の防火を呼びかけることが目的。団員は、式終了後、地域の安全・安心を守るため、警鐘を鳴らしながら夜警に出発しました。



レッドフェニックスが九州大会へ

12月27日、小林ミニレッドフェニックスがミニバスケの九州大会出場を前に市長を表敬訪問しました。武田拳成主将は「全国大会に出場できるように頑張る」と力強く抱負を語りました。



新春の山麓路で健脚を競う

1月3日、山麓ランニングクラブ主催、新春山麓路ロードレース大会が開催されました。小学生から一般まで164名が参加。北西方3区入佐運動公園をスタート・ゴールとして健脚を競いました。



どんど焼きで無病息災を祈る

1月14日、どんど焼きが細野の牧場にある演芸場で行われました。組まれた竹に点火すると、大きく弾ける音とともに巨大な火柱が出現。参加者は竹の先に刺した餅をその炎で焼き、おいしそうにほお張っていました。



堂々と発表する池田さん【写真左】と久我さん【写真右】。両者は2月4日に開催される宮崎県大会に出場します。

池田美由紀さんが最優秀賞 わけもんの主張

1月19日、わけもんの主張が文化会館で行われました。これは、西諸の市町の代表が最近の政治や選挙について感じることや考えを主張するもので、小林市からは池田美由紀さんと久我真弘さんが出場。表現力豊かな落ち着いた発表で、池田さんが最優秀賞、久我さんが優秀賞を受賞しました。



火の番をする児童たち。4年生の高佐隆平くんは「煙が目に入り、痛くて大変だった。昔の人の苦労が分かった」と話していました。

羽釜で炊いたご飯にご満悦 東方小で「おにぎりの日」

1月19日、児童自ら作り、収穫した米で米炊きやおにぎり作りなどを体験する「おにぎりの日」が東方小学校でありました。3、4年生はかまどと羽釜を使った昔ながらの米炊きに挑戦。4年生の森岡菜弥さんは「ガスで炊いたときよりも、香りが良く美味しかった」と感想を話していました。

災害時の迅速な医療救護に期待 西諸医師会と協定を締結

12月28日、災害時における医療救護に関する協定が西諸医師会と西諸の2市1町で締結されました。これは、災害発生時に医療救護活動を実施する必要がある場合、医師会に直接協力を要請することができるもの。調印後、横健一郎会長は「今後も医師会と行政が一体となって同じ方向を向いて前進することを期待したい」とあいさつしました。



災害発生時の迅速な医療が展開できることが期待されます。肥後市長は「地域住民の大きな安心につながる」とあいさつしました。

全国の作文コンテストで 野口リカさん(栗須小6年)が優秀賞

1月11日、栗須小6年の野口リカさんが「社会を明るくする運動」作文コンテストで日本更生保護協会理事長賞を受賞し、同校で伝達式がありました。コンテストには全国から約22万点が応募。野口さんは「犯罪者を差別することはよいことですか」という題の作文で見事受賞しました。



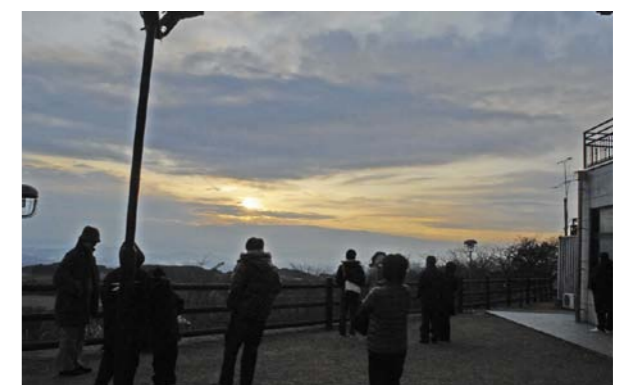
野口さんは受賞を喜び「将来明るい社会を自分たちで作っていきたい」と話していました。



同委員会は7月に15人で発足し協議を重ねてきました。意見書を受け取った肥後市長は「熟読して判断したい」と話していました。

学校給食施設整備検討委員会が 意見書を提出

12月27日、小林市学校給食施設整備検討委員会が市長に意見書を提出しました。同委員会は、旧小林市内の8小学校と須木地区の学校給食センターを学校給食衛生管理基準に適合した施設に整備するには「共同調理場方式で整備することが望ましい」と判断。倉田富夫委員長は「単独調理場の良い点も取り入れてほしい」と話しました。



晴天とはならなかったものの、初日の出を迎えに多くの家族連れが来場。来光の瞬間、会場には万歳三唱の声が上がりました。

初日の出のお出迎えや 新春の遊びをコスモス牧場で

1月1日、コスモス牧場で、初日の出の会が開催されました。元日から3日までは「昔・むかしで遊びましょ」をテーマにしたお正月イベントを開催。来場者は、独楽まわしや凧あげなどの昔ながらの遊びの体験や、餅つきなどをおして新春を楽しみました。